

第 2 次安芸高田市総合計画（第 4 回）審議会 意見と対応について

章	p.	ご意見	対応等
序論	17	「③農業が持つ可能性」に林業も加えてほしい。	「③農林業が持つ可能性」に修正。 林業に関する記述を加えた。
	11	前回の振り帰りの部分で、過去 10 年間の行政の予算配分等、お金の使われ方について、ベンチワークも含め、検証すべきではないか。	基本構想に盛り込むことは別として、検証することは必要かもしれない。コンサルにおいて、類似団体の比較ができるよう、資料整理をお願いする。 あくまでも、振り返りということで、基本構想には記述しないこととする。
	14	空き家対策や空き家バンクの表現はあるが、関連して「婚活」についても記述すべきではないか。	序論や構想はガイドラインとなる部分であり、お金のことや婚活などについての記述は、基本計画や実施計画の中で対応する。
基本構想	20	目標人口の記述の部分について、人口問題、少子高齢化については、大きな課題であるので、その重要性を示すべき。	「総合計画を実現させるために、人口減少の歯止め対策・少子高齢化対策の推進が必要不可欠です。ここに、10 年先の目標を掲げて人口問題に取り組んでいきます。」ということ、記述に加えた。
	25	政策目標 8 のところは、これまで取り組んできたこととして、序論のところに既にも書いてある。	「本市の均衡ある発展と住民福祉の向上を目指し、『住民と行政の協働のまちづくり』を基盤とした行政活動を推し進めます。そして、地域振興組織の取り組みによる『自らの地域は自らの手で』とした自主的活動を通して、ふれ合いと活気ある地域コミュニティづくりを推進します。」と区分けして記載した。
	25	政策目標 9 の産業の活性化の部分ですが、これは特に強調していただきたい	「本市の経済を支える主要産業である農業や製造業の活性化に取り組みます。また、光ネットワークをより充実させ、IT 産業やサテライトオフィスなど新たな産業の誘致と支援を積極的に行っていきます。」としてはどうか ⇒サテライトオフィスについては、可能性は言えるにせよ、積極的な誘致及び支援ということについては、課題も多いのではないかと 「創出を図る」という程度に柔らかい表現にしたほうが良いだろう。

	前回ワークショップの議論の内容が反映されていない。	基本計画、実施計画に反映していく。
13 23	「市町村運営有償運送」とあるが、安芸高田市には「村」は存在しないのでは。	「市町村運営有償運送」とは、川根の「もやい便」と智教寺の「友愛とろっこ便」のことを指す。いわゆる、交通空白地と呼ばれる公共の交通が全くない地域に、地元で資格を取っていただき地元で運行をしていただくという、制度の名称。説明が必要なので、欄外に説明文を加えるか。 ⇒ 「お太助バス、お太助ワゴン、もやい便、友愛とろっこ便」と表示してはどうだろうか。
11	前回の振り返りの中に、旧町ごとの将来的課題や発展すべき方向性を記述すべきでは。	それぞれの地域文化を理解し、活かしていくことは大切であるが、基本構想の部分での6町それぞれの記述は必要ないと考える。
	上記の件は、大切なことであり、基本構想の場面では必要ないと思うが、行政として、どこかの場面では必ず整理していただきたい。	他の場面で対応する。
	「自助・共助・公助」という言葉が何回も出てくるが、公助の意味を一般的にとらえると、税金を使って助成するという風にもとれる。これは財政的な公助とか、政策的な公助をとらえるのか、少し説明をいただきたい。	「公助」については、公的な助成だけではなく、地域の活動による利益を地域のコミュニティに循環するということもある。つまり、地方自治体の公金をそこにつぎ込むという考え方ではなくて、そこでお金の地産地消をするということもある。田園都市の中には、こういう新しい「公」という考え方もある
25	地域資源の活用についての必要性は、はたくさん書いてあるが、安芸高田市の美しい自然も資源だと思う。24pの「未来につなぐ自然環境」で記述が必要では。	「地域資源が活かせるまちづくりへの挑戦」の中の、「安芸高田市の宝を磨く」に宝として自然という表現がある。
26	②健全な財政運営と行政改革の推進のところの記述で、「次世代に過大な負担をかけることのないよう」とあるが、「過少な負担ならかけてもいいのか」。	「過大な」という部分は、とる。
20	1,200人増やすというところで、実際のターゲットはどこにおくのか。	目標人口の1,200人のところは、定常人口、10年先にそこに住む人口を確保できるかということが、そこに書いてある。この記述でいく。
	20代から40代までの若い女性が、特に減るといわれている。そういう女性のことが全く出てこない。ターゲットが、変わることによって、政策も変わるのだと思うが。	空き家や婚活のことと同様に、ここで具体的に扱うことは難しい。基本計画での対応を検討する。

その他

4		コラムの旧町別人口予測のグラフを並び替える。(県勢順序)
10		ICT について、注釈を付ける。
19		将来像の説明書き及びイメージ図を挿入
20		コラム：目標人口の設定根拠について、誤解が生じないように修正した。
23	政策目標 1 へ 道の駅に関する記述を	⇒市民生活や、産業活動を支える道路、上下水道、住宅や、道の駅など人がつながる交流施設の整備・・・・・・・・
25	政策目標 8 へ 人権尊重について記述を	⇒お互いの人権を尊重しながら共に生きることができる地域社会の形成に努めます。